

保育士ヒーローブレイク

「保育士ヒーローブレイク」は、我らが徳島県のご当地ヒーローです。

洗練されたデザインのヒーローたち、華麗なアクション、個性豊かなキャラクター、だけではなく、実際に子どもに関わる仕事をしているメンバーたちによる、子どもたちだけでなく大人までも考えさせられるストーリーや、子どもたちへの愛情あふれた、心あたたまる交流がその特長であり、他では決して味わうことの出来ない魅力です。

実際にヒーローショーのステージや、グリーティングでの交流に触れると、親子揃って夢中になることまちがいないし！そんな素敵な人たちです！

三味線もちつき「うだつ」

江戸時代、旧脇町が阿波藍（あわあい）で栄えた頃、豪商たちが年の暮れに、唄と三味線やカネ、太鼓等の鳴り物にあわせて正月用のもちをつかせたのが始まりといわれています。

景気の良いもちつき唄を、三味線、太鼓にあわせて歌いながらつく、派手なめでたいもちつきです。また、もちつき唄の内容は、郷土色豊かな、当地のことを唄ったものです。オシャシャノシャンシャンでクライマックスに見せる「きなどり」と「つき手」の絶妙なタイミングとスピード感は、観客を思わず惹きつけるものがあります。迫力にあふれ見て楽しく、大変喜ばれています。

NPO法人 太鼓の楽校

NPO法人太鼓の楽校は、和太鼓の響きを通じて、和太鼓の素晴らしさや日本の心をより多くの方に伝えていく事を目的として2012年5月に設立した団体です。

活動グループである和太鼓集団「太鼓一家」をサポートし、福祉や教育などの様々な場で、和太鼓を見て、触れて、感じるができるような体験の場作りをしています。また年齢、性別、障がいの有無を越えて、様々な人が和太鼓を通じて郷土芸能を楽しんで頂けるような環境作りを目指しています。県内外を問わず、各種イベントにて年間50回以上の演奏活動をしており、講師の派遣やワークショップ（体験活動）の開催、指導者の育成なども行っています。

高石ともやプロフィール

1966年、「かごの鳥ブルース」でデビュー。メッセージフォークの旗手としてギターを背負いながら日本中を歌い巡る。「受験生ブルース」「主婦のブルース」など話題作発表。69年12月、学生運動・反戦運動と共に生きてきたフォークソングの終わりを決意、「高石ともや冬眠コンサート」を最後にソロ活動停止。1970年代に入り、ブルークラスやトラディショナル・フォーク、日本の民謡などを歌い始める。ザ・ナターシャー・セブンとして活動の他、宵々山コンサートを始める。また、マラソンランナーとしても活躍。93年、CDブック「さあ、陽気にゆこう」出版。2017年、フォークソングを歌い続けて50年、51年目のフォーク・コンサートを行う。